

教育課程等の概要														
(社会環境学研究科社会環境学専攻 (M))														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	社会環境学特論	1	4						2	1				
	英語コミュニケーションスキル特論	1		2		○								
	日本語コミュニケーションスキル特論	1		2		○								
	小計 (3科目)	—	4	4	0	—	—	—	2	1	0	0	0	
専門科目	環境経済学特論	1		2		○			1					
	環境経済政策特論	1		2		○			1					
	エネルギー政策特論	1		2		○			1					
	アジア環境協力特論	1		2		○			1					
	現代中国企業論特論	2		2		○								
	比較企業システム特論	1		2		○			1					
	比較監査制度特論	2		2		○			1					
	環境会計特論	1		2		○			2					
	環境保全学特論	1		2		○			1					
	環境技術戦略特論	2		2		○								
	環境法特論	1		2		○			1					
	契約法特論	1		2		○			1					
	企業法特論	1		2		○				1				
	環境行政特論	1		2		○			1					
	環境教育特論	1		2		○				1				
	文化環境論特論	2		2		○				1				
	環境社会学特論	2		2		○								
	事例研究Ⅰ (企業経営と社会的責任)	1		2		○			2	1				
	事例研究Ⅱ (企業経営と国際性)	2		2		○			3					
	事例研究Ⅲ (損害賠償を巡る法的検討)	1		2		○			2					
	事例研究Ⅳ (地域経営を巡る行政と住民)	2		2		○			2					
事例研究Ⅴ (社会環境調査法)	2		2		○			1	1					
社会環境特別演習	1~2	8				○		11	3					
小計 (23科目)	—	8	44	0	—	—	—	33	8	0	0	0		
合計 (26科目)		—	12	48	0	—	—	11	3	0	0	0		
学位又は称号	修士 (社会環境学)		学位又は学科の分野			経済学関係、法学関係								
修了要件及び履修方法								授業期間等						
・修了要件は、学位論文の審査に合格し、又は課題研究の発表及び最終試験によって行う。 ・履修方法は、在学期間中にその専攻の基礎科目及び専門科目について、30単位以上を修得し、かつ研究指導を受けなければならない。								1学年の学期区分		2 学 期				
								1学期の授業時間		15 週				
								1時限の授業時間		90 分				

教 育 課 程 等 の 概 要

(社会環境学部社会環境学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	自然	環境と自然	2	2		○			1						
		環境と統計の基礎	1	2		○									
		環境と化学の基礎	1	2		○									
	文 化	日本近代の思想	1		2		○								
		現代の倫理	2		2		○								
		国際社会と日本	1		2		○			1					
		九州の歴史と文化	2		2		○								
		環境と地域風土	2		2		○				1				
		異文化コミュニケーション	2		2		○				1				
		歴史学概論	2		2		○								
	地理学概論	2		2		○									
	社 会	日本と世界の経済	2		2		○			1					
		暮らしの中の法	1		2		○					1			
		現代社会と法	1		2		○				1				
		エコロジーと国際社会	2		2		○								
	健康	生涯のスポーツ	1		2		○			2					
		心のしくみ	1		2		○								
	ゼミ	教養ゼミナール	1		4			○		10	7	3			
		環境基礎演習	1		2			○		1					
小計 (19科目)									16	10	4				
スキル教育科目	外国語	リーディング・ライティング 初級Ⅰ	1		2		○				2	1			
		リーディング・ライティング 初級Ⅱ	1		2		○				2	1			
		リーディング・ライティング 中級	2		2		○								
		スピーキング・リスニング 初級Ⅰ	1		2		○			1	1	1			
		スピーキング・リスニング 初級Ⅱ	1		2		○			1	1	1			
		スピーキング・リスニング 中級	2		2		○								
		トピックA (リーディング)	2		2		○								
		トピックB (リスニング)	2		2		○								
		パワーアップ イングリッシュ	3		2		○								
		ドイツ語Ⅰ	2		2		○				1				
		ドイツ語Ⅱ	2		2		○				1				
		フランス語Ⅰ	1		2		○								
		フランス語Ⅱ	1		2		○								
		中国語Ⅰ	1		2		○								
	中国語Ⅱ	1		2		○									
	韓国語Ⅰ	2		2		○									
	韓国語Ⅱ	2		2		○									
	日本語	日本語表現法	1		2		○				1				
		ディベート技法	2		2		○				1				
		プレゼンテーション入門	2		2		○				1				
	情報処理	コンピューターリテラシーⅠ	1	2			○								
		コンピューターリテラシーⅡ	1	2			○								
		統計データ処理Ⅰ	2		2		○								
		統計データ処理Ⅱ	2		2		○								
		マルチメディア演習Ⅰ	2		2			○							
		マルチメディア演習Ⅱ	2		2			○							
		メディアプレゼンテーション	3		2		○								
形成キャリア	人間形成	1		2		○			1						
	キャリア形成Ⅰ	1		2		○			1						
	キャリア形成Ⅱ	2		2		○			1						
	キャリア形成Ⅲ	2		2		○			1						
小計 (31科目)		—							6	11	4				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	社会環境学Ⅰ(総論)	1	2			○			1						
	社会環境学Ⅱ(経済と環境)	1	2			○			4						
	経済学Ⅰ(ミクロ経済)	1	2			○									
	経済学Ⅱ(マクロ経済)	1	2			○			1						
	経営学Ⅰ(総論)	1	2			○			1						
	経営学Ⅱ(各論)	1	2			○									
	憲法総論	1	2			○			1						
	行政学Ⅰ(地方行政)	1	2			○									
	社会環境学Ⅲ(法律と環境)	1	2			○			2	1	1				
	社会環境学Ⅳ(人間と環境)	1	2			○			2	2	1				
	民法Ⅰ(総論)	1	2			○									
小計(11科目)									12	3	2				
基幹科目	会計学	2		2		○			1						(注) *1,2,3 の科目 から各 1科目以 上を選 択必修
	公共経済学 *	2		2		○									
	環境経済学	2		2		○			1						
	行政法Ⅰ	2		2		○									
	環境法Ⅰ(総論) *	2		2		○			1						
	民法Ⅱ(契約法)	2		2		○									
	社会心理学	2		2		○			1						
	環境社会学 *	2		2		○					1				
人間環境学	2		2		○				1						
小計(9科目)									4	1	1				
専門教育科目	環境会計論Ⅰ	3		2		○			1						
	財政学	2		2		○									
	地域開発論	2		2		○									
	アジア経済論	2		2		○			1						
	多国籍企業論	3		2		○			1						
	国際貿易論	3		2		○			1						
	資源エネルギー経済論	2		2		○			1						
	国際エネルギー管理論	3		2		○			1						
	企業論	2		2		○									
	経営情報システム論	2		2		○									
	生産管理論	3		2		○									
	マーケティング論	4		2		○									
	経営分析論	3		2		○			1						
	財務会計論	3		2		○			1						
	環境会計論Ⅱ	3		2		○			1						
	行政法Ⅱ	2		2		○									
	民法Ⅲ(不法行為法)	2		2		○									
	環境法Ⅱ(環境規制法)	2		2		○			1						
	環境法Ⅲ(環境事業法)	3		2		○			1						
	国際環境法	3		2		○					1				
	経済数学	1		2		○									
	行政学Ⅱ(国家行政)	1		2		○									
	環境健康学	1		2		○			1						
	ライフスタイルと環境	1		2		○				1					
	経済政策論	2		2		○			1						
	環境管理論	3		2		○			1						
	経済発展論	2		2		○			1						
	統治機構論	2		2		○			1						
	人権論	2		2		○			1						
	企業取引法	2		2		○					1				
	企業組織法	3		2		○					1				
	福祉政策論	2		2		○									
	発達環境論	2		2		○			1						
	簿記論	2		2		○			1						
環境民俗学	2		2		○					1					
環境政策総論	2		2		○			1							
環境政策各論Ⅰ	3		2		○			1							
環境政策各論Ⅱ	3		2		○			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	資源エネルギー政策論	2		2		○			1						
	環境教育論	3		2		○				1					
	NPO論	2	2			○									
	住民参加論	3	2			○									
	国際環境協力論	3	2			○			1						
	地域社会学	2	2			○					1				
	都市社会学	3	2			○									
	社会調査法	2	2			○			1						
	環境思想史	2	2			○					1				
	環境心理学	3	2			○			1						
	生活環境論	3	2			○				1					
	文化環境論	3	2			○				1					
	環境デザイン論	3	2			○			1						
	地域循環社会論	2	2			○									
	社会統計学	3	2			○									
	人間行動学	3	2			○			1						
	人間生命倫理論	3	2			○			1						
	環境人類学	3	2				○				1				
	消費者法	4	2				○								
	環境判例演習	4	2				○								
	環境地理学	4	2				○								
	地域計画論	4	2				○								
	社会環境学特殊研究Ⅰ	2	2				○			1					
社会環境学特殊研究Ⅱ	2	2				○			1						
社会環境学特殊研究Ⅲ	3	2				○									
社会環境学特殊研究Ⅳ	3	2				○									
小計（64科目）									31	8	3				
ナゼミ	ゼミナールⅠ	2	4					○	11	2	2				
	ゼミナールⅡ	3	4					○	11	3	2				
	ゼミナールⅢ	4	4					○	11	3	2				
小計（3科目）									33	8	6				
合計（137科目）									15	8	4				
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
<p>・卒業要件は、社会環境学部にて4年以上在学し、所定の授業科目を履修し、卒業に必要な124単位以上を修得した学生については、教授会の議を経て、学長が認定する。</p> <p>・履修方法は、総計124単位を次の区分に従い単位を修得する。</p> <p>イ 教養教育科目は、必修科目の全部を含め、合計24単位以上。</p> <p>ロ スキル教育科目は、外国語から8単位以上、日本語から4単位以上、情報処理から8単位以上、必修科目の全部を含め、合計20単位以上。</p> <p>ハ 専門教育科目は、基礎科目から28単位、基幹科目から6単位以上、展開科目から34単位以上、必修科目の全部を含め、80単位以上。</p>								1学年の学期区分		2 学期					
								1学期の授業時間		15 週					
								1時限の授業時間		90 分					